

警告

次のような医用電気機器との併用は、影響を与える可能性があるため、使用しないでください。

- ペースメーカーや植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器
- 心電計などの装着形の医用電気機器

心臓病と診断され、日常の過激な運動を制限されている人は使用しないでください。

注意

次の人は、ご使用前に必ず医師に相談してください。

1. 悪性腫瘍のある人
2. 心臓疾患のある人（心臓に障害のある人）
3. 妊娠している人 妊娠初期の不安定期又は出産直後の人
4. 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人
5. 体温38℃以上（有熱期）の人
（急性炎症症状 [倦怠感、悪寒、血圧変動など] の強い時期にある人。衰弱している人）
6. 安静を必要とする人
7. 脊椎の骨折、捻挫、肉離れなど急性（痛風性）疾患の人

子供に使用する場合、必ず保護者の監督下で使用してください。
また、機器本体、導子極板および対極板の上で子供を遊ばせたり、上に乗ったりさせないでください。

- 機器の上に物を置かないでください。
- 他の電気製品の近くに置かないでください。
- 金属繊維などの導電性物質を含む布団とともに使用しないでください。
- 導子極板および対極板プラグの本体差込口のソケットに金属棒などを挿入しないでください。
- 導子極板および対極板のケーブル、電源コード、ACアダプターに無理な力が加わらないようにしてください。
極端に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、小さく束ねたり、重いものを乗せたりすると、寿命を縮め、火災、感電、事故などの原因となります。また、導子極板および対極板のプラグ部分に衝撃を与えると、プラグの破損の原因となりますのでご注意ください。
- 弊社が提供する付属品（電源コード、ACアダプター、導子極板、対極板）以外は使用しないでください。
- 本体および付属品を他の用途に使用しないでください。
- 濡れた手で製品を扱わないでください。感電などのけがや故障のおそれがあります。

電子供給器HD21／HD11／HsDは健康関連機器であり、医療機器ではありません。

本機器の使用目的は、一般的な健康目的や健康的な生活を維持するためであり、医療目的（病気の発見、診断、監視、病状や病気に関する治療等）のためではありません。

医学的なアドバイスが必要な場合は医師にご相談ください。

尚、日本国内仕様のため、安全上及び法律により、海外ではご使用できません。

製造元

reltec レルテック医療器株式会社

香川県坂出市川津町3795番地1
TEL (0877) 45-5333(代) FAX (0877) 45-1881
<https://reltec.co.jp>



お問い合わせは販売店へ

reltec

電子供給器シリーズ

HD21

（エイチディー21）



HD11

（エイチディー11）



HsD

（エイチエスディー）



還元電子技術適用



電子供給器 **HD21** YD仕様／BD仕様

希望小売価格

900,000円 (税込 990,000円)

YD仕様：導子極板AC 2本、対極板YD 2本
BD仕様：導子極板AC 2本、対極板BD 2本
導子極板／対極板ケーブルの長さ：2.5mまたは4m
外形寸法：300(W)×110(H)×280(D)(mm)
極板プレートの寸法：導子極板AC 100×100(mm)
対極板YD／BD 50×55(mm)



電子供給器 **HD11** YD仕様／BD仕様

希望小売価格

500,000円 (税込 550,000円)

YD仕様：導子極板AC 1本、対極板YD 1本
BD仕様：導子極板AC 1本、対極板BD 1本
導子極板／対極板ケーブルの長さ：2.5mまたは4m
外形寸法：300(W)×110(H)×280(D)(mm)
極板プレートの寸法：導子極板AC 100×100(mm)
対極板YD／BD 50×55(mm)



還元電子技術適用



導子極板／対極板の装着例



電子供給器 **HsD**

希望小売価格

350,000円 (税込 385,000円)

導子極板ACs 1本、対極板BD 1本
導子極板 対極板のケーブルの長さ：2.5m
外形寸法：140(W)×180(H)×200(D)(mm)
極板プレートの寸法：導子極板ACs 50×50(mm)
対極板BD 50×55(mm)

還元電子技術とは

電子供給器には「還元電子技術*」を適用しています。(*レリテック医療器(株)の社内呼称)
「還元電子技術」とは、抗酸化を目的として、人体に対して皮膚を経由して(経皮的に)電子を効率的・効果的・安全に供給するための包括的技術です。

印刷物のため実際の色と若干異なる場合があります。

使用方法

標準的な使用例

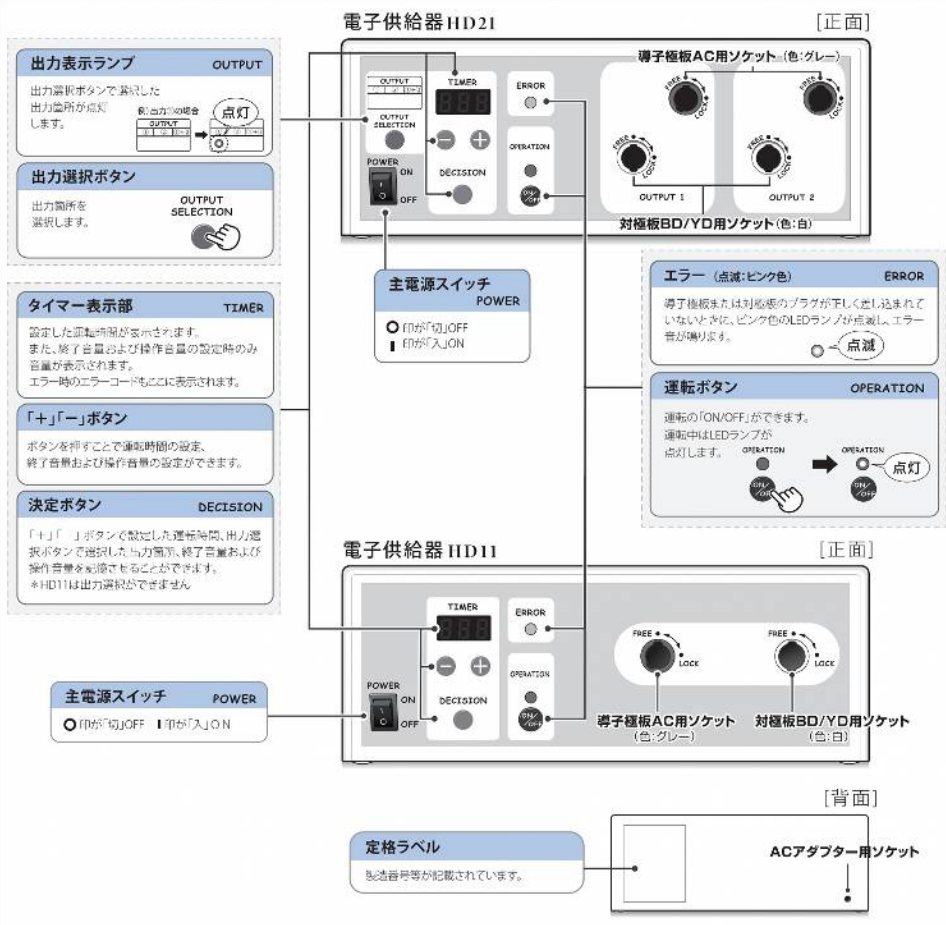
期間	1回の使用時間	
初日～3日目	5～10分	一時的な身体のだるさを感じたときは、1回の使用時間を短くしてください。
4日目～7日目	10～15分	
8日目～	15～60分	

1日の使用回数
1～5回
(目安)

1回の使用時間
5～60分
(目安)

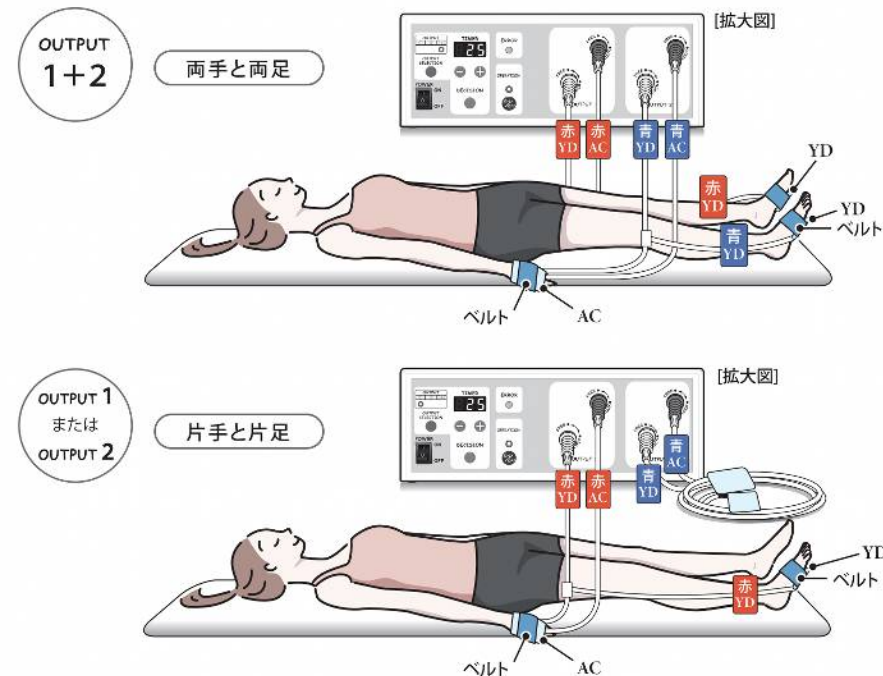
- ①上記の表は標準的な使用の一例です。
体調に合わせて1回の使用時間、1日の使用回数を適宜、調整してください。
- ②使用後、次の使用までに1時間以上あけてください。
- ③初めて使用されるときは、短時間(5～10分)で使用し、回数を重ねながら少しずつ身体を慣らしてください。
- ④一時的な身体のだるさを感じたときは、1回の使用時間を短くしたり、1日の使用回数を減らしてしてください。
- ⑤お子様や身体の弱い方など、年齢、体力、体重により、1回の使用時間は20分以内にすると適宜、調整してください。
- ⑥身体に異常を感じたときは、直ちに使用を中止してください。
- ⑦途中で別の人に使用するときは、必ず、運転を停止してから行ってください。
- ⑧導子極板と対極板は、プレートの裏表を交互に使用することをお勧めします。
- ⑨1ヵ月以上使用しなかったときは、短時間(5～10分)で使用し、回数を重ねながら少しずつ身体を慣らしてください。

本体各部の名称と機能



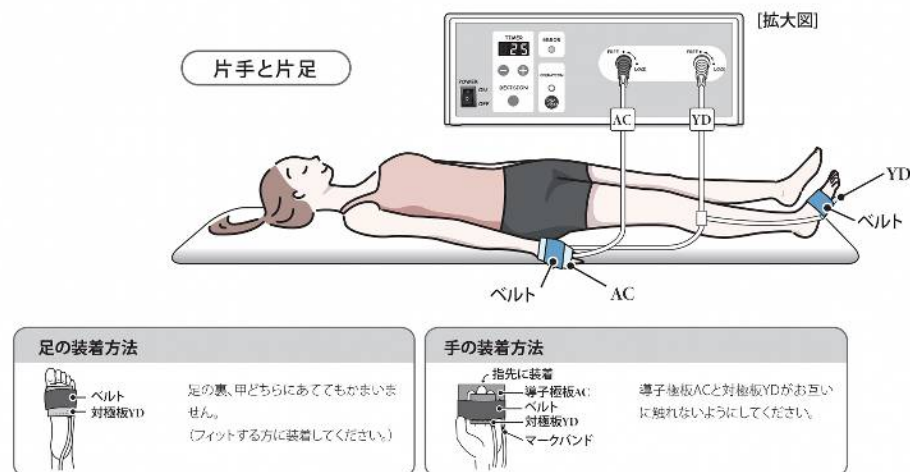
HD21 YD仕様 導子極板／対極板の装着例

下の装着例から、足に取り付ける対極板を外すとHD21 BD仕様の装着例になります。



HD11 YD仕様 導子極板／対極板の装着例

下の装着例から、足に取り付ける対極板を外すとHD11 BD仕様の装着例になります。



●仰向けになって使用してください。 ●使用後は1時間以上あけてください。 絵はイメージ図のため形状等異なります。

電子供給器 HD21 HD11 製品仕様

※掲載した製品の仕様や外観は改良等の理由により、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

販売名	HD21	HD11
型 式	HD21	HD11
外形寸法	300(W)×110(H)×280(D)(mm)	300(W)×110(H)×280(D)(mm)
定格電圧	100-240V～(日本国内での使用の場合、AC100Vに限定)	100-240V～(日本国内での使用の場合、AC100Vに限定)
定格周波数	50-60Hz	50-60Hz
定格消費電力	2W	2W
重 量	約2.2kg(本体)	約1.8kg(本体)
運転時間	任意設定(1分～60分)	任意設定(1分～60分)
出力電圧	DC-5000V±1000V	DC-5000V±1000V
出力数	3パターン(出力1、出力2、出力1+2)	1パターン
安全装置	・プラグが抜けた時、運転の自動停止 ・プラグが正常に挿入されていない時、運転しない ・過電流保護 出力部に保護抵抗を直列接続して電流の流れを制限	・プラグが抜けた時、運転の自動停止 ・プラグが正常に挿入されていない時、運転しない ・過電流保護 出力部に保護抵抗を直列接続して電流の流れを制限
作動モード	連続運転	連続運転

付属品	HD21		HD11	
	YD仕様	BD仕様	YD仕様	BD仕様
導子極板AC(2.5m/4m)	2本	2本	1本	1本
対極板YD(2.5m/4m)	2本	—	1本	—
対極板BD(2.5m/4m)	—	2本	—	1本
カバー小	4枚	4枚	2枚	2枚
カバー特小	8枚	4枚	4枚	2枚
ベルト特小W(長さ30cm)	4本	2本	2本	1本
ベルト中(長さ80cm)	1本	1本	1本	1本
ベルト大(長さ120cm)	1本	1本	1本	1本
ACアダプター(1.25m)	1本	1本	1本	1本
電源コード(2m)	1本	1本	1本	1本
接地アダプター	1個	1個	1個	1個
取扱説明書	1部	1部	1部	1部
エナジーチェック	1個	1個	1個	1個
スパイラルチューブ(2.5m/4m)	10本/16本	10本/16本	5本/10本	5本/10本

付属品(保証対象外)

※1 フェライトコアは絶対に外さないでください。



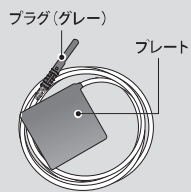
□ 電源コード(1本)



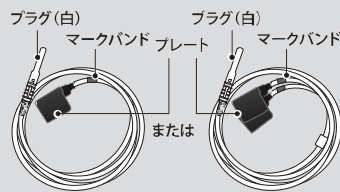
□ ACアダプター(1本)



□ エナジーチェック(1個)



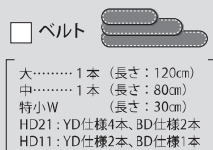
□ HD21:導子極板AC(2本)
マークバンド:赤色、青色
HD11:導子極板AC(1本)



□ HD21:対極板BDまたはYD(2本)
マークバンド:赤色、青色
HD11:対極板BDまたはYD(1本)



□ 接地アダプター(1個)



□ ベルト
大……………1本(長さ:120cm)
中……………1本(長さ:80cm)
特小W(長さ:30cm)
HD21:YD仕様4本、BD仕様2本
HD11:YD仕様2本、BD仕様1本



□ スパイラルチューブ
HD21:4m仕様16本
2.5m仕様10本
HD11:4m仕様10本
2.5m仕様5本



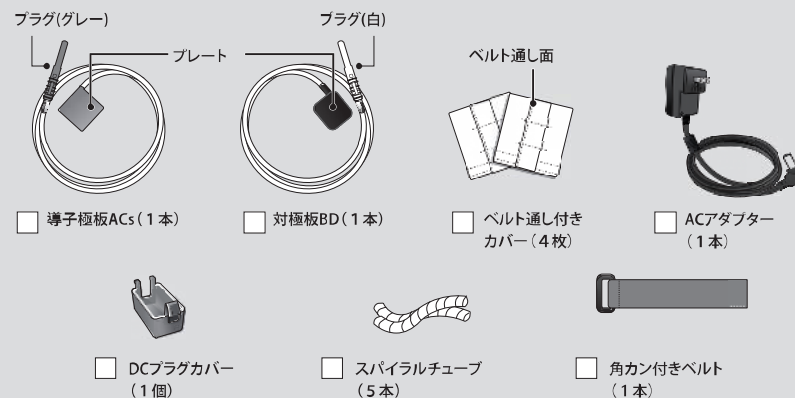
□ カバー
カバー小(導子極板AC用)
HD21:4枚 HD11:2枚
カバー特小(対極板YD用)
HD21:8枚 HD11:4枚
カバー特小(対極板BD用)
HD21:4枚 HD11:2枚

電子供給器 HsD 製品仕様

※掲載した製品の仕様や外観は改良等の理由により、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

販売名	HsD	付属品 導子極板ACs(長さ2.5m)……………1本 対極板BD(長さ2.5m)……………1本 ベルト通し付きカバー……………4枚 角カン付きベルト(長さ30cm)……………1本 ACアダプター(長さ1.30m)……………1本 取扱説明書……………1部 スパイラルチューブ……………5本 DCプラグカバー……………1個
型 式	HsD	
外形寸法	140(W)×180(H)×200(D)(mm)(DCプラグカバーは含まず)	
定格電圧	100-240V～(日本国内での使用の場合、AC100Vに限定)	
定格周波数	50-60Hz	
定格消費電力	3W	
重 量	約1.4kg(本体)	
運転時間	最大60分	・プラグが抜けた時、運転の自動停止 ・プラグが正常に挿入されていない時、運転しない ・過電流保護 出力部に保護抵抗を直列接続して電流の流れを制限 ・出力異常時に運転の自動停止
出力電圧	DC-4500V±900V	
安全装置		

付属品(保証対象外)



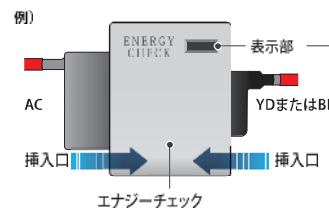
導子極板/対極板について

導子極板および対極板は消耗品です。性能を十分に維持するために、導子極板ACまたはACsは1年毎の交換をおすすめします。また断線・破損した対極板YDまたはBDを使用すると、感電や電撃を受けるおそれがありますので、対極板YDまたはBDは1～2年毎の点検をおすすめします。



エナジーチェック

電子供給器 HsD には付属しません



エナジーチェックは、機器の使用前の点検に用いる検査機器です。

- 1.エナジーチェックを水平な場所に置いて導子極板AC、対極板YDまたはBDを各挿入口に奥まで挿入します。
- 2.本体を運転状態にします。
- 3.異常がなければエナジーチェック表示部に「OK」表示が点灯します。(OKが一瞬でも表示されれば正常です。)

※点検中は、導子極板AC、対極板YDまたはBDに触れないようにしてください。必ずカバーを外して点検してください。

エナジーチェックは、本体からの出力有無を確認するものです。導子極板/対極板の消耗・劣化状態を確認するものではありません。